

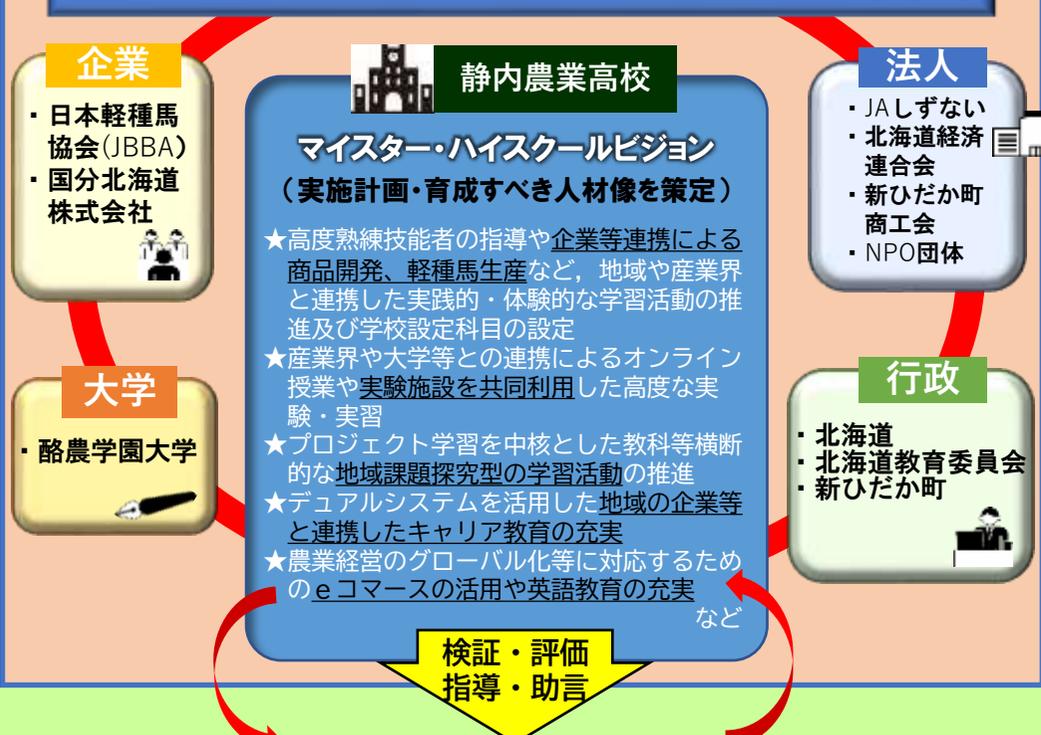
# 地域発次世代イノベーター人材の育成～持続可能な日高農業の創り手～



## 事業の目標

軽種馬、野菜生産や食品加工など、特色ある日高の農産業の実践をとおして、地域産業の課題解決の一助を担うとともに、フロンティアスピリッツのもとに地域と産業の持続的発展をけん引するイノベーターとしてのマイスター育成を図る。

## マイスター・ハイスクール運営委員会



## 静内農業高校

(教育目標) 自ら考え正しく判断できる力を養い、たくましく生涯を生きる生徒を育てる

地域と一体化した3年間の学びで目指す**5つの資質・能力**

「思考力」 「判断力」 「表現力」  
(未知への好奇心と対応力の醸成)

「実践力」 「創造力」  
(挑戦と変革)

**卒業後の姿(専門性を生かしたマイスターを育成)**

- ◆地域の担い手、高度な技術者、六次化を推進する人材、地域創生の担い手(獣医・装蹄師・コンサイナー・GAP指導員) ※奨学金制度の導入
- ◆専門技術で新しいビジネスを提案できるイノベーター
- ◆地域資源を商品化できる人材 ◆世界で活躍するグローバル人材

## マイスター・ハイスクール事業推進委員会

(マイスター・ハイスクールCEO、静内農業高校ほか)

- ★マイスター・ハイスクールビジョンに基づいた取組や最先端の職業人材育成システムの構築、育成すべき人材像の育成に必要な学科や年限の改変も含めた教育課程の刷新の方向性を検討、決定
- ★各事業の計画・実践・まとめ・検証・評価・改善 (PDCAサイクルの構築)

### (委員会の構成)

CEO: 全体統括、校長・教頭: 渉外・調整、事務長: 会計、農場部: 企画運営・庶務、教務部: カリキュラム及び時間割調整、進路指導部: 外部講師講演(1年次進路に関わる部分)及び資格取得、普通科主任: 普通教科との授業連携及び調整、英語科主任: 資格取得(英検)、情報担当: 情報発信

## 静農版課題解決学習と3カ年計画

	資質・能力の育成	主な学習活動
3年次 「進化」 (evolution)	○表現力、実践力 ○自己認識 ○社会性 ○回復力と対処能力	○デュアル派遣実習 ○ICT研修 ○GAP・HACCP認証審査 ○大学等での実験・実習 ○海外との交流事業 ○キャリア・パスポートの活用
2年次 「挑戦」 (challenge)	○情報収集能力 ○創造力 ○思考力、判断力 ○忍耐力	○インターンシップ ○ICT研修 ○GAP・HACCP認証審査 ○商品開発・販売の基礎研究 ○キャリア・パスポートの活用
1年次 「発見」 (discover)	○課題発見能力 ○コミュニケーション力 ○意欲 ○自制心	○企業等の施設・設備の利用 ○講演及び実践的研修 ○ICT研修 ○GAP・HACCP研修 ○キャリア・パスポートの活用

# 地域発次世代イノベーター人材の育成～持続可能な日高農業の創り手～

新ひだか町長や職業人材による講話等を通して、新ひだか町や地域産業の現状と将来像を把握し、地域の求める人材像を主体的に理解し、考察する。

## 事業の必要性

将来、日高の基幹産業を支える人材が不足し、地域産業の衰退が危惧されるため、産業界や自治体、学校の三者が協働でイノベーターとしてのマイスター育成を図る必要がある。

## マイスター・ハイスクールビジョン 静内農業高校における人材育成計画の概要

- ア 高度熟練技能者による指導や企業等と連携した商品開発や軽種馬生産など、地域や産業界と連携した実践的・体験的な学習活動の推進及び学校設定科目の設定
- イ プロジェクト学習を中核とした教科等横断的な地域課題探究型の学習活動の推進
- ウ デュアルシステムを活用した地域の企業等と連携したキャリア教育の充実
- エ 地域や小・中学校と連携した教育活動など、異年齢集団による活動の推進
- オ オンライン授業や実験施設を利用した高度な実験・実習など大学等との連携・協働
- カ 農業経営のグローバル化等に対応するためのeコマースの活用や英語教育の充実

## 卒業後の姿(専門性を生かしたマイスターを育成)

- ◎地域の担い手、高度な技術者、6次産業化を推進する人材、地域創生の担い手(獣医師・装蹄師・コンサイナー・GAP指導員)
- ◎専門技術で新しいビジネスを提案できるイノベーター
- ◎地域資源を商品化できる人材
- ◎世界で活躍するグローバル人材

## 実施体制

### マイスター・ハイスクール運営委員会



検証・評価  
指導・助言

### マイスター・ハイスクール事業推進委員会

(マイスター・ハイスクールCEO、静内農業高校ほか)

## 取組状況

### ○町の現状と将来像



地域農業の変遷や産業構造を理解し、担い手の不足が深刻であることを学んだ。(日高農業改良普及センター)

### ○新ひだか町長講話



担い手不足の解消のため、新規就農者に対する支援が整備されていることを学んだ。(日高農業改良普及センター)

### ○職業人材による講話



ディスカッションをとおして、新ひだか町の取り組みや課題を学習し、「自分達にできること」を考えた。(新ひだか町長)



商品を作って終わりではなく、その活用方法を消費者へ提示し、愛される商品を作る大切さを学んだ。(ベル食品)



馬の蹄の構造や特長、病気等について学び、日常の適切な管理がいかに大切であるかを学んだ。(JBBA)



6次産業化の実践事例を学び、新ひだか町には多くの可能性がある事を学んだ。(日高農業改良普及センター)

### ○施設見学及び実習



食品や物流に関わる先進的な技術や機器・機材の扱い方等について実際に見学し、学んだ。(国分北海道株式会社)



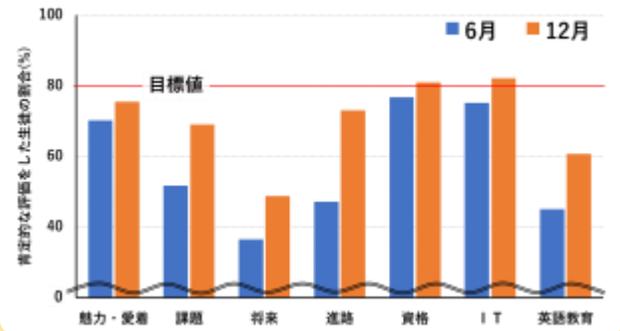
競馬の役割と動向、競走馬生産の特性や流通等について学び、競馬産業への理解を深めた。(JRA札幌競馬場)



土壌の種類別管理の方法や診断方法等について、本校の圃場をモデルにして学習した。(北海道立総合研究機構)

## 成果

### 生徒の意識変容

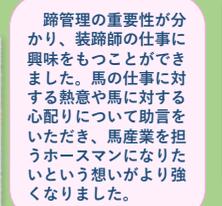


「進路」について考えた生徒、「地域の課題」について考えた生徒が増加した。将来のために貢献したいと考えた生徒も増加したが、目標に対して大きくかけ離れていた。

## 生徒の声



ニーズを柔軟に捉えた様々な取組や、食品業界が信頼を失った場合、回復までにどのような苦勞があるのかを学びました。安全な食品製造を、より強く意識するようになりました。



蹄管理の重要性が分かり、装蹄師の仕事に興味をもつことができました。馬の仕事に対する熱意や馬に対する心配りについて助言をいただき、馬産業を担うホースマンになりたいという想いがより強くなりました。



病害虫の診断や対策を学びました。また、農業は種類や使用方法をしっかりと守ることで環境に配慮した持続可能な農業につながることを学びました。今回教えていただいたことをいかして作物を栽培するのが楽しみです。

## 課題

農業に関する課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける必要がある。

### 次年度の強化事項

- デュアル派遣実習
  - ・ガイダンス機能の充実と実習時における目標設定及び振り返りなどの指導を充実させる。
  - ・新ひだか町の実態を踏まえ、町内の協力企業の確保と、長期休業中の実施など実施形態の改善を図る。
- プロジェクト学習
  - ・産業現場の第一線で活躍されている企業の社員、農業関係機関などの専門的知識・技能を有する職業人材の方々に、課題設定や研究計画、実施に関してご助言いただく等、内容の充実を図る。